富士河口湖高校同窓会だより

河高北陵館通信

Vol.36

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663－1 TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 http://kawako-dosokai.net/

同窓会40周年

同窓会長
天野　績男（四期生）

お陰様で本年、河高同窓会は40周年を迎えます。「四十にして惑わず」40歳になり、道理も明らかになり、自分の生き方に迷いがなくなったという孔子の言葉のように河高の卒業生も1万1千人を超え、日本国内外の様々な分野で活躍されています。

同窓会は、「会員相互の親睦を深める」「母校の事業を賛助する」「文化の発展に貢献する」という目的で卒業20年目の期生（学年）が当番幹事になり、毎年7月に総会や懇親会、講演会を開催させて頂いています。

昨年は、20期生の渡辺吾郎実行委員長を中心に「当日、来てくれた同級生に喜んでもらいたい！」と、1年前から20回以上も集まり、準備をしていたことに頭が下がりました。

講演会では、お笑い芸人のゴルゴ松本さんの楽しい感動的な命の授業を400名以上の方々が聞きに来て下さり、子どもや大人の笑い声が会場に響き大盛況で終えることができました。

その後の総会では、20年ぶりの校歌を合唱、懇親会では、恩師を含め100名が出席、まるでタイムスリップしたように高校生時代に戻り旧交を温めました。

一昨年の河高創立40周年では、災害時の備蓄倉庫と部活の遠征用のハイエースを同窓会から贈呈し「万が一の時に安心出来る。」「車が新しくなって嬉しい！」と、先生や在校生に喜んで頂いています。

又、生徒やPTAの念願だった制服が2020年に変わります。ご尽力を頂いた田口尚弥校長先生は今年度で退職になります。本当にお世話になりました。

同窓会役員は、これからも実行委員が活躍出来る環境づくりや学校と連携して在校生の応援をさせて頂きます。

今後、さらに河高同窓会を良くするために同窓生という人財の把握と情報発信が最優先課題になります。その実現のために同窓会40周年の事業として、細心の注意を払い同窓会名簿の作成をさせて頂きますので、ご理解とご協力をお願い致します。

新制服に願いを込めて

校長
田口　尚弥

同窓生の皆様には、平素より本校の教育活動に対し、格別なご支援、ご協力を賜り、衷心より厚く御礼を申し上げます。お陰様で、在校生達は校訓「仰峰不屈」の精神のもと、学習に部活動に精励し、充実した高校生活を送っております。今年度も、部活動をはじめ多方面にわたり、素晴らしい成果をあげ、定期的に行われる納め式では、毎回、壇上に何十人という生徒達が登壇しています。

さて、皆さんすでにご承知のとおり、昨年度の創立40周年を契機に、新制服の制定について検討を進めてまいりました。個人的には、現在の制服（特に女子）の品格高いデザインを変更することに忍びない思いもありましたが、生徒・職員対象のアンケート調査を行い、優れた機能性を備えた新しい素材による現代的なデザインの制服へ移行することを決定しました。詳細は省きますが、平成30年8月に制服会社3社によるプレゼンテーションを実施し、在校生の圧倒的な支持を獲得した制服を最終候補とし、現在、細かなデザイン等について、職員による校内制服検討委員会を中心に作業を進めています。

2020年4月には、新しい制服に身を包み、伝統を継承しつつも新しい河高を創造する生徒たち（現中学2年生）が入学することとなります。

ここで、採用された新制服の3つのポイントを紹介します。1点目は、凛としたデザイン、2点目は、活動的な生徒が快適に着用できる機能性、3点目は、KAWAKOを周知させるブランディングとなっています。この新制服を新たなツールとして、これまでの河高の伝統を踏まえながら、河高の魅力を最大限に発信してまいります。

結びに、本校への日頃からのご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。また、日々進化を遂げている富士河口湖高校の姿を是非ご覧頂きたいと考えております。お近くにお越しの節は、遠慮なく校門をおくぐりください。お待ちしております。

近況報告

「ギタークラブやってます」

4期　高村 純正

40年前の今頃、総合選抜の受験勉強をしていたんだと、この原稿を頼まれて振り返ってみていました。

卒業後進学してUターン就職をするも、会社の都合でまた都内に転勤、30歳で結婚を機に退社し、山梨に戻り現在の会社で経営をするまでになりました。

12年前にあるテレビをきっかけにアコースティックギターをどうしても弾きたくなり猛練習、友人を誘ってユニットを組んで内輪で楽しんでいました。2010年のある日、富士吉田で自宅を改造してライブハウスをやっているシンガーソングライターがいると知り、その内輪のグループで行ってみると意気投合、いっそのことサークルを創ってしまおうと『富士五湖アコースティックギタークラブ』を結成しました。『音楽を通じて郡内地方を活性化しよう』をテーマに活動を始め、5人で始めたクラブが今や100人を超える登録メンバーまで大きくなりました。

活動の拠点は当初自宅改造のライブハウスでしたが、メンバーが増えるにつれ手狭になり、西裏に『ライブバージュゲム』を有志の出資で造り、音響機器も本格的なものを入れ、毎月の定期演奏会やイベントで盛り上がっています。また、当クラブのステラシアターや市民会館でのライブを年にそれぞれ1回と、刺激的でなかなか経験が出来ないことを毎年行っています。

音楽に興味ある方は一度『ライブバージュゲム』を覗いてみてください。少し不愛想なオーナー（クラブの会長でもある）が出迎え（笑）、クラブにはいつでも入会できます。メンバーには河高卒業生もたくさんいます。

一緒に盛り上がって地元を活性化しましょう。

「同窓会総会に向けて」

第40回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会総会実行委員長　竹原　誠

第40回県立富士河口湖高等学校同窓会総会実行委員長を務めさせて頂く竹原誠です。

まず、同窓会長始め、役員の方々、先生方、また多くのOB・OGの皆様が同窓会総会を続けてきていただいた事、心より感謝申し上げます。続けてきて頂いたからこそ今回この様な機会を頂き卒業から20年間が経った今当時の自分を振り返る事が出来ています。

河高の仲間たちと過ごした3年間で学んだ事は、社会人として自身の成長に繋がっています。苦手な勉強でも頑張れば結果になる。辛くとも楽しかった部活は今でも繋がりをもたらしてくれる。生徒会長として多くの生徒と触れ合ったことで思いやりの感性を育むことができました。大いに盛り上がった紫光祭や骨折して参加できなかった体育祭は良い思い出として。受験シーズンに頑張っている仲間を見て、俺も頑張ろうと刺激を受け新しい一歩を踏み出す勇気を出せたこと。思い起こせばたくさんの思い出があり、河高に行って本当に良かったと感じています。こうして総会に向けて準備をしている間も、委員会の中で当時を振り返り様々な話題が飛び交っています。当時の友好関係や、今何やっているのかな？といった話題。…「恋バナ」等々。

富士河口湖高校21期生として出会った皆と再会が出来ること楽しみで仕方ありません。

私達は社会人として中堅層に入りました。可愛がられた20代から徐々に後輩ができ、今では多くの先輩、後輩を持つ身となっています。様々な経験を積んできた私も社会人として培ってきた経験を元に母校富士河口湖高校に恩返しが出来ればと思っております。

つきましては、7月27日（土）第40回県立富士河口湖高等学校同窓会総会をハイランドリゾートホテル&スパで開催させて頂きます。地域貢献へ向けた取組みの中で、代々の先輩方に恥じぬ総会に致します。是非、皆様にご参加頂き旧交を温めあって頂ければと存じます。また、今回も各方面に協賛金のご依頼をさせて頂き、各位の皆様には、何卒、ご理解ご協力頂ければ幸いです。

最後になりますが、同窓会総会を開催するにあたり、役員の皆様、実行委員の皆様、先生方、在校生、卒業生の皆様、関係者の皆様の協力なくしてはありえません。今後ともご意見ご支援を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

新生徒会長より

『仲間と共に』

42代生徒会長　外川 真由子

私は、第四十二代生徒会長として、これまでに先輩方が積み上げてきたものや伝統を、より良いかたちに発展させ、より多くの生徒からの意見を活動に反映させていきたいです。

中でも一番力を入れていきたい活動は、生徒会最大行事である、「紫光祭」です。今年度からは文化部門と体育部門の日程が分けられました。これにより、各部門ごとより力を入れて取り組めるようになったと思います。それは、各生徒としてもであり、生徒本部としても言えることです。このことや、今年度生徒会本部の生徒として活動してきた経験を生かし、多くの生徒が楽しみにしている紫光祭を、最高のものにしていきたいです。

私は、これからの一年間生徒会長として活動するにあたり、「生徒からの意見」を大切にしていきたいです。行事を成功させるためそして普段の学校生活をより充実したものにするためには、生徒がどう思っているかを知ることが一番です。本部の生徒からは出なかった意見でも、全校生徒から意見を集めれば、新らしい意見に触れることができると思います。全校生徒とともに、よりすばらしい河高をつくっていきたいです。

今年の同窓会総会・懇親会は2019年7月27日（土）開催決定!!